

# 令和5年度 堺東高等学校

## 第1回 学校運営協議会

### ご提言・ご意見のまとめ

令和5年度 堺東高等学校第1回学校運営協議会が、7月24日に開催されました。第1回の協議事項は、「今年度の学校経営計画と取組みについて」、「各分掌、学年、委員会より現状報告と今年度の取組みについて」、「スクールポリシーの策定について」です。当日、各委員のご提言、ご意見の概略を以下のようにまとめました。

#### 協議会委員

津田 謹輔	帝塚山学院大学 学長
上川 紀久恵	堺市立晴美台中学校 校長
遠藤 真砂美	晴美台1丁北自治会
森 繁樹	本校同窓会 会長
夏秋 香織	本校PTA 会長
逢坂 昌也	(株)ベネッセコーポレーション

#### 事務局

校長 教頭 事務長 首席 企画委員

#### 【次第】

- (1) 学校運営協議会について(教頭)
- (2) 校長挨拶
- (3) 学校運営協議会委員の自己紹介
- (4) 学校経営計画と取組みについて報告(校長)
- (5) 分掌・学年・委員会より現状報告と今年度の取組み(3分以内)
- (6) 来年度の教科用図書について(教務部)
- (7) スクールポリシーの策定について
- (8) 質疑応答



## 【協議事項(1)今年度の学校経営計画と取り組みについて】

《校長より》

・7月23日(日)にインテックス大阪で開催した進学フェアでは、本校のブースに中学生と保護者500名超の来場者がありました。これは昨年度の2倍に迫る多さで、総合学科としての取り組みや魅力・強みをアピールしました。

・今年度の学校経営計画と取り組みの1つめ、「確かな学力の育成と授業改善」について、1人1台端末等の日常的・積極的な活用をすすめ、さらに生徒参加型の授業を推進します。

・2つめの「安心して安全な学校づくり」では、自立支援コースの充実を図るとともに、教員の人権意識を高める研修を実施します。また、教職員から生徒への声掛けなど、生徒が気軽に相談しやすい関係を構築し、教育相談体制をより充実させます。

・3つめの「夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成」については、地域・大学・企業等との連携の充実を図ることで多様な経験や専門性を持った人材をお招きし、自らの人生や新しい社会を切り拓く力を育成します。



《質疑応答》

Q:入学時、生徒のICTの技術・知識の差がありますか。また、使用のルールはどうされていますか。

A:入学時のスキルに個人差はありますが、使用ルールの説明を最初に行い、学期ごとに反復しています。その上でタブレットの管理や充電は、生徒自身が自宅で行っています。

## 【協議事項(2)分掌・学年・委員会より現状報告と今年度の取り組みについて】

《第3学年より》

・5月の体育祭を立派にやり切ったり、文化祭でも全クラスが劇に挑戦することになったりと、1年当初からのスローガン『「出る杭」を打たない、得意な分野(場面)で「出る杭」になってみる(チャレンジする)』が形になってきています。現在、総合的な探究の時間(=夢チャレンジ)で自分の進路についての書籍を読んで考察しまとめる「未来研究レポート」に取り組んでいます。今後も1人ひとりに寄り添った進路実現の支援を行っていきたいと思います。



《第2学年より》

入学以来、「受身打破」「脱過保護」「人間力の向上」を柱に指導にあたっています。生徒に考えさせることに力を入れています。昨年からは全員で毎朝の読書が続けており、その他にも教養の幅を広げるため6月に文楽鑑賞を実施しました。今後は夏休みのオープンキャンパス、修学旅行と、受け身ではなく能動的に楽しんでほしいと思っています。

### 《第1学年より》

52期生は、「自分で動く」「当たり前を大切に」「思いやりの心を育てる」の3つをスローガンにしています。遠足、体育祭、部活動を通じて、友達の輪・クラスの輪・先輩との輪が広がり、笑顔が増えてきていると感じています。今後も体も心も逞しく成長していけるよう、学年としてもしっかりとサポートしていきたいと思います。



### 《総務部より》

今年度より10月学校説明会を「10月オープンスクール」とし、11月オープンスクールとともに内容をより充実させます。全体会で学校を紹介し、そのあと各教室に分かれ、1年生が中心となって学校生活や総合学科についてお伝えします。生徒たちが活き活きと活動する様子も中学生や保護者の皆様に見ていただけたらと思っています。

### 《教務部より》

生徒の科目選択のアドバイスがよりの確に行えるように、教員間の説明会や勉強会を実施しました。また、生徒の学習面の様子を教員間で共有し、チームとして連携して生徒をサポートするため、前期・後期にそれぞれ2回ずつ教科担当者会議を行います。



### 《進路指導部より》

この春の卒業生は、4年制大学・短大・専門学校を含めると、現役の進学率が92%となっています。1年生から基礎学力と学習習慣向上を図る「ガシドリ」を活用し、今後も「行ける進路」から「行きたい進路」の実現ができるよう働きかけをしていきます。

### 《生徒指導部より》

スローガンは「遅刻・欠席をしない、正しい頭髪・服装、マナー・モラルの向上」です。今年度の4～6月の遅刻件数は、昨年度と比べ14%減少しました。今後も時間を守ることの大切さ、自転車の乗車マナー、社会人になるための心構え等を伝えていきたいと思います。



### 《生徒会部》

5月の体育祭では、生徒会の生徒が例年の3団対抗から6団対抗に変更するという大きな決断を行いました。誰一人前例を見ていない状態で、3年生を中心に学年を超えて全員が一丸となり、コロナ以前より盛り上がった体育祭となりました。次年度以降に繋げたいです。

### 《保健部》

例年通りの各種検診と、昨年より全学年に加わった眼科検診、耳鼻科検診を予定通り6月中に終わることができました。このあとも避難訓練、AED・心肺蘇生・熱中症対策講会、1年生向けの性教育講演会等を実施し、生徒たちの健康管理や安全管理を行う予定です。

### 《人権教育推進委員会》

今年度の人権講演会は、戦争の悲惨さや当時の女性の状況、障がいの問題などが織り込まれた「いつだって青空」を観劇しました。他に「SNS・ネット上のトラブル」、「奨学金や契約を学ぶ法律講座」、「就職と人権」等、さまざまな角度から人権問題を学んでいきます。

### 《生徒支援委員会》

当委員会では、学校生活に困難を抱える生徒を、担任に加え学校内外のチームで支える取り組みを行っています。毎月の定例の会議の他、欠席が増加傾向にある生徒の面談を行ったり、スクールカウンセラーの来校日を保護者に周知し、相談していただいています。



### 《自立支援コース》

本校自立支援生徒は、各学年に3人ずつ在籍し、教科授業以外に、学年を超えたグループで昼休みに校内の畑の管理をしています。校外での企業・施設実習に加え、校内でも生産・収穫・販売等の労働経験を積み重ね、体験から得られる大きな学びを積み重ねています。

### 《探究委員会》

本校は3年間の探究プログラム「夢チャレンジ」を総合学科の柱と捉え、「主体的に学び、仲間と学び、夢に向かってチャレンジする」というスクールミッションの実現をめざし、「課題や困難にぶつかっても行動できるスキル」を得るプログラムを組んでいます。

### 《志学研究委員会》

毎年7月と12月に行う堺支援学校との学校間交流は、30年以上の歴史があり「相手を思いやり理解し合うためにはどうすれば良いか、生徒自身が学び、考え、行動する」という内容です。今後も双方の生徒にとって、かけがえのない体験を続けていきたいと考えています。

### 《質疑応答》

Q: ガシドリとは何ですか。

A: 堺東ドリルのことです。本校では、国・数・英の3教科で、それぞれの生徒が苦手を克服するためのオリジナルドリルに取り組んでいます。

## 【協議事項(3) スクールポリシーの策定について】

### 《首席より》

校内で協議を重ね原案を作成し、さらに協議会委員からご意見をいただき、策定しました。今後決定しましたら、HP等で発表いたします。



### 《質疑応答》

Q: スクールポリシーを策定したあと、アクセスをわかりやすくすることが大切です。

A: HPに掲載し、よりわかりやすく広報していきたいと思えます。